

25 地下タンク貯蔵所とボイラーのサービスタンクをつなぐ 地下埋設配管が腐食して重油が流出した事故

1 発生年月

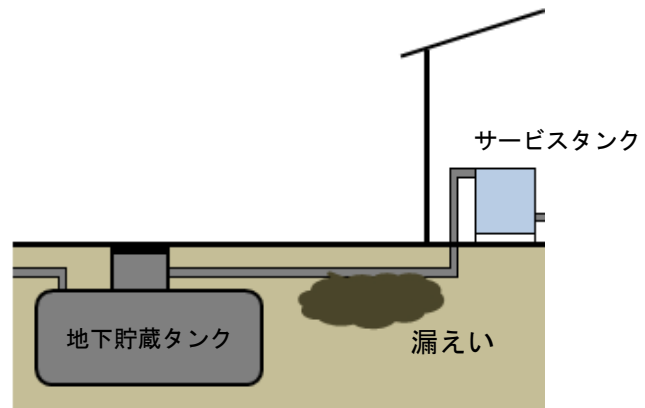
平成23年4月

2 施設区分

地下タンク貯蔵所

3 物質区分

第4類第3石油類（重油）



4 事故概要

地下タンク貯蔵所に隣接する水路に油が流れていたため、地下タンク貯蔵所を点検したところ、漏えい検査管で油分が確認された。その後、地下タンク貯蔵所内の重油を抜き取り、周囲のボーリング調査、タンク本体及び配管の気密試験を実施した結果、地下タンク貯蔵所とボイラーのサービスタンクをつなぐ地下埋設配管に漏れがあったことが確認された。

5 事故原因

地下埋設配管の長期間の使用に伴う腐食劣化により孔が開き重油が流出した。（流出部位の使用年数：27年）

6 対策

定期点検（配管の漏れの点検）の他、危険物の在庫確認、漏えい検査管による確認等の日常点検を徹底する。

<関連する保安教育資料>

- ・「8 埋設部分の漏えい事故対策」（平成20年5月発行）
- ・「43 日常点検の実施について（2）」（平成23年5月発行）
- ・「49 地下タンク貯蔵所における流出事故の状況（1）」（平成23年11月発行）
- ・「50 地下タンク貯蔵所における流出事故の状況（2）」（平成23年12月発行）